

平成25年度 福祉一行詩コンクール入賞作品

「福祉」をテーマにした一行詩の募集に、たくさんのご応募ありがとうございました。
応募総数512点の中から入賞した作品をご紹介します。

原文のまま掲載

特選

車いすの人のドアをあけるのを手伝ったよ。
これが私なりのボランティア!
岩戸 アヤ乃(養正小学校5年)

ねえ知ってる?
ユニバーサルデザインは、つくっている人の
思いやりが詰まっているんだよ
本部 愛弥(南ヶ丘中学校2年)

入選

私の手は、あなたの支えに。
そして、私の支えは、あなたの笑顔なのです。
脇田 彩生(昭和小学校6年)

ユニバーサルデザインは「みんなに優しい」
「みんなに平等」「みんなの笑顔」
小境 真奈(南ヶ丘中学校2年)

おじちゃん、初めての車いすはずかかった?
私が押したら楽だったでしょう?
水野 優風(小泉小学校4年)

立てないおばあちゃん。でも、笑顔でむかえてくれる。
だから私は二倍の笑顔で返します。
小林 未来(小泉中学校1年)

手話をつかって会話をしたよ。
言葉じゃなくても、自分の気持ちが伝わって、
うれしかった。
小島 彩乃(養正小学校5年)

おばあちゃんいつも支えてくれてありがとう。
でも今度は僕が支える番
井戸 鉦介(小泉中学校1年)

母は言う。仕事だけど楽しいデイサービス。
自分も笑顔になれるから。
山本 結女花(池田小学校6年)

おばあちゃん、転んで骨折。
それでも、「ごめんね」って。
間違ってる、「ありがとう」って言うんだよ。
宗宮 早希(東濃フロンティア高等学校)

「福祉」という肥料を使えば、笑顔という花が咲く。
そして、幸せという名の実が成る
菊田 智弘(南ヶ丘中学校2年)



佳作

やさしさってなに?
それは人のことを大事に思える
すてきなこころだよ。
近藤 愛唯(小泉小学校4年)

おじちゃん、私は将来介護士になりたいから、
それまで元気で待っていてね。
香住 真姫(養正小学校5年)

思いやり。たくさん積もって、輝く笑顔。
世界の人たちの輝く笑顔のために…。
北條 彩(南ヶ丘中学校2年)

おばあちゃん大好き、
いつもにこにこ私を応援してくれる。
ずっとずっと元気でいてね。
高橋 佑果(池田小学校5年)

ボランティアとは。人と人がつながる場。
人と人が支える場。人と人が輝く場。
林 泰輝(南ヶ丘中学校2年)

ボランティア 世のため 人のため
みんなのため
渡邊 知穂(南ヶ丘中学校2年)

しょうがいのある人のお手伝いを
はじめてやってみたよ。
みなさんの笑顔は太陽みたいだった。
山口 陽菜(小泉小学校4年)

福祉と言われて難しく考えずに
あなたはあなたができることを考えればいい。
熊崎 正成(南ヶ丘中学校2年)

あこがれだ。デイサービスで
働く母はいつも輝いている。
田中 風音(南ヶ丘中学校2年)

「どうぞ、すわってください」
電車の中で言えるかな?
はずかしい?言わないほうがはずかしいよ。
鈴木 七海(養正小学校5年)

たまに会う車いすのお兄さん。
いつも大変そうに自分で車いすを押して坂を登っている。
何もできない私。でもあいつだったらできるから。
丹羽 麗(小泉中学校1年)

今日は一人暮らしの高齢者を訪問します。
心のビタミン。
あげたり、もらったり。おたがいさま。
和田 好平(一般)

おばあちゃんからもらったやさしさありがとう。
次は、私が他の人にやさしくするね。
田中 鞠女(昭和小学校6年)



～皆様からお寄せいただいた共同募金の助成を受けて実施しました～